

アントロポゾフィー看護外用療法スペシャリストコース 概要のご案内 (Anthroposophic Nursing External Treatment Specialist Course)

当法人ではこれまで、アントロポゾフィー看護の実践と普及を目的に「国際アントロポゾフィー看護ゼミナール 基礎コース」を開催してきました。

最初の基礎コース開催から15年となる2024年4月に、日本に於ける初めてのスペシャリストコースを開催いたしますので、下記の通り概要をご案内します。

目的：アントロポゾフィー看護に於ける外用療法は、医療現場のみならず、介護や教育の現場でも効果を実感できる看護技術といえる。これまでの単なる実践に留まらず、専門職として理解を深め自覚と自主性を持って現場に立つことで、一般医療との橋をかけ、社会への貢献に繋がられる人材を育てる。同時に、各々が倫理的にも精神的にも成長することで、個人のアイデンティティーを反映した看護の実践ができるようになることを目指す。

開催日程： 第1モジュール 2024年4月27日(土)～5月2日(木)

予定 第2モジュール 2025年5月1日(木)～5月6日(火)※¹

予定 第3モジュール 2026年4月30日(木)～5月5日(火)※¹

※¹：2025年以降は、基礎コースとの並行開催を予定しているため、日程は未確定

開催場所：あげつまクリニック(豊田市)

募集人数：最低3名～最大12名

申込み締め切り：2024年2月末日

参加資格

- ☆ 看護師の国家資格があること。
- ☆ 看護師、助産師、保健師としての実務経験が5年以上あること
- ☆ アントロポゾフィー看護基礎コースを修了していること、あるいはそれと同等の知識・技術を有していること(スペシャリストコースを修了するまでに、未履修の基礎コースの講座を修了できる見込みのある者)
- ☆ 基礎コースで学んだリズムミカルアインライブングの知識・技術を保持し、日常的に施術を行なっていること
- ☆ 日本アントロポゾフィー看護協会の会員であること
- ☆ 日本のアントロポゾフィー看護の発展に寄与する意志があること

申込み先： <https://forms.gle/odK172MvesWBtdDL7>

参加費用

- ☆ 1モジュール毎に 受講料15万円 +メンター謝礼3万円(担当メンター1名)
別途・食事/宿泊費が必要
- ☆ 認定試験の際に試験料、および合格者はIFAN登録料が必要

スペシャリストコースの内容

1. 人間と自然に対するアントロポゾフィー的理解 30 単位

4 つの構成要素/3 分節/7 つの生命プロセス/BG 的リズム/12 感覚など、基本的な理解を更に深め、これら必須用語をわかりやすく説明できるようにする。更にこれらの用語を使って看護ケアを適切/真っ当に説明し、これらの理解に添った看護診断が行えるようになることを目指す。

具体的な内容：基礎コースでの学びを深めるため、アントロポゾフィー的世界観についてプレゼンテーションを行う

2. 看護に関連した健康と病気についてのアントロポゾフィー的理解 60 単位

従来の医学と看護の文脈の中でアントロポゾフィー看護を実践する。その中でアントロポゾフィー医学の観点から、典型的な疾患と一般的な看護の問題を説明できる事を目指す。

具体的な内容：症例検討、ディスカッションを通して理解を深める

3. アントロポゾフィーによる看護概念 65 単位

人間を構成する 4 つの要素から診断し、看護過程に従って必要な看護対策を導きだし、反映させ、更に評価することができる。

具体的な内容：講義と課題発表

4. プロフェッショナルリズム、コラボレーション、患者の権利 20 単位

一人の人間として自己啓発に努め、チームワークを育み、人生に於ける倫理的/哲学的な側面について考える。専門的/法的な枠組みを知り、特に統合的/補完的な看護方法を用いる際の患者の権利について知る。

具体的な内容：他職種との協働、自己学習を促進する方法としての芸術とオイリュトミーの体験

5. アントロポゾフィー看護の応用実践 80 単位

アントロポゾフィー看護に於ける外用療法のスペシャリストとなるため、応用実践を通してケアプラン/実践/その評価をする。必要に応じた外用療法を選択し、その評価ができる。看護方法を、地理的/社会的/文化的状況に適応させ、患者に説明できる。危機介入のための看護方策を適用する。

具体的な内容：部分 RE の質を深め、それぞれの特徴を理解する。発展的な外用療法（ペンタグラム RE、臓器の RE など）を修得する。特定の人生の状況、様々な特定疾患に対応するアントロポゾフィー看護の講義で理解を深める

コース期間中に、RE に関する実践レポートを 30 例以上、湿布に関する実践レポートを 15 例以上提出する

6. 自己学習 125 単位

1 週間のゼミナールを終えた後は、グループや個人での学習/実践で学びを深める。

- ☆ プロジェクトワーク：テーマを決めたグループ/個人の実践など
- ☆ メンターによる実習：実技に対する指導/助言など

スペシャリストコースの構成と修了の目安

3 年にわたるモジュールの参加と、その間に取り組んだ課題を提出した後、スペシャリスト認定試験を受け、合格した者は IFAN に「アントロポゾフィー看護外用療法スペシャリスト」として登録される。

受験に必要なもの

- ☆ 申込書
- ☆ 看護師免許証
- ☆ 認定された上級トレーニングコースの参加証明書
- ☆ アントロポゾフィー的な診断を行った症例報告を 3 例
- ☆ 専門分野のトピックに関する最終論文

試験内容

- ☆ 最終論文の口頭発表とそれに続く専門的なディスカッション
- ☆ 実技試験：各分野に於ける少なくとも 2 つの実演と考察（計 90 分）
- ☆ 理論的試験：提出された症例報告に関する専門的なディスカッション